

## 友だちについてもう一度考えてみよう なかよし月間

11月に入り屋代小学校は「なかよし月間」になりました。自分の日頃の友だち関係について振り返り、さらによりよい関係になっていくようもう一度見直しをしてみようというものです。11月5日には校長講話があり、「なかよし月間」に向けての話がありました。以下～校長講話からの抜粋～

### 「思いこみ」ということ

私たちは、一度こうだと思いこむと、なかなかその考えから抜け出せないときがあります。こういうのを「思いこみ」といいます。そして、「思いこみ」はいろいろな見方をできなくしてしまいます。人に対して言えば、その人の本当の姿を見えなくしてしまうことがあります。



### 「泣いた赤鬼」

心のやさしい赤鬼は人間と仲良しになりたくて、こんな看板を立てます。「こころのやさしい鬼のうちです。どなたでもおいでください。おいしいお菓子もごさいます。お茶もわかしてごさいます。」これを見たきこりが珍しがって中をのぞきます。「なんだかひっそりしているぞ。きみが悪いな。さてはまじめにみせかけて、うまくだましてとって食うつもりらしいぞ。危ない危ない、鬼だもの。」でも、村に帰り仲間と一緒に興味がありましたから鬼の家にやってきましたが、鬼が出てくるとやはり怖いと思って逃げ帰ってしまいます。これを聞いていた赤鬼はどんな気持ちだったでしょう。鬼だから、乱暴者で悪いやつだと思ってしまう。これが「思いこみ」ですね。この物語では、最後は、村人も赤鬼の優しさが分かって、一緒に仲良く楽しく暮らすことができるようになるのですが、どうして仲良くなれたのかは、ぜひ読んでみてください。

～中略～

「思いこみ」を一度取り去って、本当の姿を見ることを「思い直し」と言います。これは、自分の事にも当てはまります。自分は運動が下手だと思い込んでいる人はいませんか？自分は物覚えが悪いと思い込んでいる人はいませんか？自分は友達が少ないと思い込んでいる人はいませんか？本当にそうでしょうか？友達どうしてちょっとしたことでケンカをしたり、いじわるをされたりすると「〇〇なんか、もう大嫌いだ」などと思って、本当の相手の良さが見えなくなってしまう。見方を変えると、今の自分とは違う自分や友だちが見えてくるかもしれません。なかよし月間では、是非そんな見方に挑戦してみてください。そうすると友達のいいところがいっぱい見つかったり、友達に「ありがとう」と言えるようになったりするかもしれません。

## 金管バンド有終の美を飾る

森將軍塚まつり

11月3日(火)

11月3日(火)に森將軍塚まつりが行われ金管バンドが参加しました。金管バンドの6年生にとっては今年最後の活動になりました。早朝、屋代駅から森將軍塚までパレードし、森將軍塚のメインステージでも演奏しました。たくさんの方に応援していただき立派な演奏ができました。過日お知らせしましたが、本校音楽専科の深澤由佳先生にとっても最後のステージでした。



## 屋代寄席切り絵会

林家楽一さん来校

11月5日(木)

11月5日(木)に屋代寄席切り絵会がありました。これは地元の屋代商業振興会が町おこしの一貫として続けてきた「屋代寄席」を、是非屋代小学校の子ども達にも見てもらいたいという思いから実現したものです。小学校には林家楽一さんという切り絵を演目に行っている落語家がきました。軽妙な三味線の音に合わせ、見事な手さばきで子ども達からのリクエストに応じて紙を切っていきます。一つ一つ完成するたびに子ども達からも大歓声が上がっていました。あっという間の楽しい時間でした。



## 避難訓練

休み時間の避難方法を確認

11月6日(金)

11月6日(金)に避難訓練を実施しました。11月に入り寒さも増してきており、学校にもストーブが設置されました。これから火気を使用することになるため、いつも以上に緊急時の備えが必要です。今回は休み時間中の訓練で今までとは違う避難方法でした。いざというときに備え、心がまえと行動の準備をしっかりと行いました。「おはしも」の合い言葉を頭に入れ、落ち着いて避難することが大切です。

## 平林みさ江先生 お世話になります

11月9日(月)から



11月6日に、音楽専科の深澤由佳先生とのお別れの式がありました。その交替として9日からは平林みさ江先生に教えていただくことになりました。音楽の授業、音楽集会、金管バンドなど、全校の子ども達がいろいろな所でお世話になります。早く仲良くなっていけるといいですね。よろしくお願いいたします。